

684

特 248

794

國民精神總動員中央聯盟の

結成にあたりて

國民精神總動員中央聯盟會長

海軍大將 有馬良橘

内閣總理大臣 近衛文磨

公爵 近衛文磨

貴族院議長 松平壽

伯爵 松平壽

衆議院議長 小松山壽

小松山壽

山

松

壽

平

賴

壽

衛

文

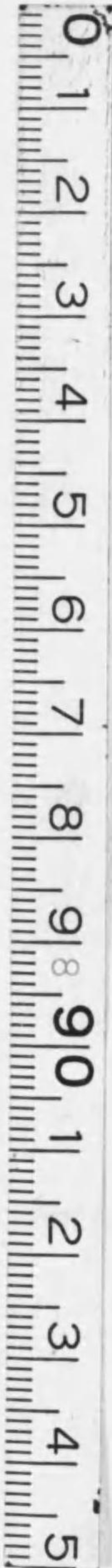
磨

馬

良

橘

國民精神總動員中央聯盟



始



3/5

手 248  
794

# 挨拶

國民精神總動員中央聯盟會長 有馬良橘

國民精神總動員中央聯盟は茲に來賓の閣下各位御參列の下に結成式を舉行致しますことを欣幸に存じます。

今次の支那事變は皇國の安危に關する重大事件であります。其の勃發以來忠勇義烈なる皇軍は善謀善戰連りに偉大なる戰績を收めつつあることは、洵に感激感謝に堪へざる所であります。崇高なる東洋精神文化を以て歐米物質文化に寄與すべき使命を有する兩國民が、干戈を執つて相撃つことは何たる悲しむべきことでありませう。併しながら百世の太平を開かんがためには忍びて之を撃たざるを得ません。今や



支那は百戰百敗し國家機能の活動も危殆に瀕せんとする状態でありま  
 す。併し我が最終の目的を達せんには内外に亘り前途尙ほ幾多の難局  
 に遭遇することあるを覺悟せねばならないと存じます。翻つて國際政  
 局を顧みまするに列國の中には事變の眞原因と我が國の正義を解せ  
 ず、擅りに我が行動を非難して敢て不當の壓力を加へんとする策動の  
 行はるることは、ソ國の活動と共に世界平和のため遺憾とするところ  
 であります。此の事態に對し我等は如何なる壓力にも屈することなく、  
 飽くまでも日支の提携により、東亞の和平を確保して共榮の實を擧げ  
 んことを希求し給ふ。大御心を貫徹せんがため、萬難を排して邁往  
 するの覺悟を固くしなければならぬと信じます。これ我等が此の中  
 央聯盟を結成して、國民精神總動員を一層強化する必要がある所以であ  
 ります。

我等は國體の本義と惟神の大道に即しつつ、舉國一致盡忠報國堅  
 忍持久の三目標を國民日常生活の實踐に具現せしむることに依て、國  
 民精神總動員の目的を達成することに努力を傾倒し、而して内外に於  
 ける幾多時艱の克服に資すること共に、或は來ることあるべき重大事態  
 に對して待つあるの備を整へ、以て東亞の和平民族共榮の皇謨を  
 翼賛し奉らんことを期したいと存じます。私は諸君と共に蹇々匪躬の  
 微節を竭くして 皇恩に報ひ奉りたいと存じます。一言を述べ御挨拶  
 せしめさせていただきます。

# 祝辭

內閣總理大臣 公爵 近衛文麿

四

曩に政府が時局の重大性に鑑み、國民精神總動員を實施するや、大方國民諸君の賛同を得、此に有力なる諸團體相集り、國民精神總動員中央聯盟を結成せらるるに至りましたることは、私の最も欣快とする所であります。今次の事變に於て帝國政府の期する所は、日支提携による東洋平和の確立に在ることは勿論ではありまするが、其の決意は、單に一時を糊塗する彌縫的平和の回復を計るものではありません。此の際誤れる對日認識を懷抱する支那政府を徹底的に膺懲して、眞に支那本來の支那、支那民衆の支那たらしめ、此に日支安んじて眞に相提

携し、東洋平和百年の恒久的組織を樹立せんことを冀ふものであります。

惟ふに、國體の尊嚴に淵源する我が文化的使命は、日本精神を基調とする世界文化への貢獻であり、吾等の祖先以來一貫せる國民的道義は、内にしては盡忠報國の一事に歸し、外にしては人類平和への寄與であるご信じます。然るに支那政府の容共政策は斯くの如き我が國民精神と全く相容れざるものなるのみならず、其の根本的迷妄に陥れる抗日侮日の暴狀は到底帝國の忍び得ざる所であります。乃ち今にして之が抜本的對策を講ずること無くんば、我が國家的使命と國際正義は全く蹂躪せられ、帝國の危難亦隨つて之を避くるに由なきに至るのであります。

今や戦線は甚だしく擴大し、國際關係は複雑微妙なるものがあります。

五

す。事變の推移も亦遽かに豫斷を許しません。幸に忠勇なる將士の奮戦、國民銃後の熱意により、速に戦果を確保することを得ることも、尙其後に成すべき各般の經營は甚だ容易ならざるものがあり、特に目下支那全土に執拗なる魔手を延しつゝある赤化勢力のことに思ひ到りまする時に、國民は今般の大事完成の爲め、並大抵ならぬ一大決意を要するのであります。然も之を成すの道は全國民が今次の事變の意義を十分に認識し舉國一致、國民精神を總動員して盡忠報國、國家の目的即ち各自の目的たるの意識を深うして、堅忍持久、その職分に邁進しその日常生活を愈々健全にするの一事あるのみと信じます。國民精神總動員の旨、實に此に在るのであります。

本聯盟亦この趣旨を賛し本運動の國民的樞軸として結成せられまし

たることは、邦家の爲め寔に慶福に堪へぬ所であり、私は此に諸君の

盡力により、本運動の遺憾なく完成せられんことを期待して止まぬ次第であります。

本日結成式に當り、聊か所見を述べ、祝辭に代へます。

# 祝 辭

貴族院議長 伯爵 松 平 頼 壽

國民精神總動員中央聯盟結成式を舉行せらるるに當り、其の席に列し、茲に所信の一端を述べますことは、私の最も欣快とする所であります。

日支兩國の提携に依り東洋の平和を確保し、世界の福祉を増進せんとするは、我が帝國不動の國是であります。

然るに支那は、東洋平和を攪亂する赤色政權と苟合して我が國を疎んじ、剩へ軍閥と黨部領袖は自己の政權を維持し、之を強化する爲、排日侮日の政策を掲げて民衆を煽動し、遂に今次の事變を起すに至つ

たのであります。

帝國は已むを得ず征討の軍を進め、各地に其の暴戾を膺懲し、善戦全勝致して居りますことは、東洋並に世界の平和促進の爲、洵に慶賀の至りに勝へません。然るに世界列國の間に於ては、殊更に事實を歪曲し、事態を虚構し、依つて以て帝國を論難する者がありますのは、誠に遺憾に存する次第であります。

我が帝國は明治維新以來、僅々七十年間に偉大なる發展を遂げたのであります。是れ固より 上御一人の 御稜威の致す所でありませんが、又一面我が温順正直なる國民の勤勉の結果に外ならぬと存じます。

我が國民は三千年の昔より、天つ神の仰せられたる「修理固成」と言ふ一大理想を抱持して居ります。尙肇國の昔より「天業恢弘」を翼

賛し奉る、盡忠報國の熱烈なる國民思想に燃えて居ります。此の理想に哺まれ、此の思想に育てられたる我が國民は、苟も東洋の平和を攪亂し、帝國の存立を殆くし、侮慢以て我を害し、倨傲以て我を損する者あらば、敢然起つて之を膺懲するに躊躇するものではありません。而して現下の支那軍閥の動靜を、世界列國の情勢を洞察するに、我が帝國の希求する日支兩國の提携は、其の前途遼遠にして幾多の障害幾多の難關の横たはつて居ることを認識しなければならぬと存じます。

之を排除し之を突破し、以て日支兩國の提携を實現し、其の繁榮を招來し、世界の福祉を増進するは我等國民に課せられたる尊き義務であります。又「天業恢弘」を翼賛し「修理固成」の國民的大理想を實現する所以であると存じます。

今次の事變も亦我が國民が東洋平和建設の途上に横たはる障害と難關を排除し突破する神聖なる作業に外ならぬのであります。幸にして生を聖代に享け、此の神聖なる行事に參與致しますことは、我等國民の無上の光榮でなければなりません。

闘は既に開かれました。闘が開かれた以上は勝たねばなりません。蓋し戦局の勝敗は、日支提携と兩國の繁榮と東洋の平和とに、重大なる結果を齎すからであります。

國民精神總動員の開始せらるる所以亦實に此に在ると信じます。先哲曰く「天の將に大任を是の人に降さんとするや、先づ其の心志を苦しめ其の筋骨を勞し其の體膚を餓やし其の身を空乏にす云云」と又曰く「憂患に生じて安樂に死す」と、寔に至言であります。今や我が國民は此の大任を天より授りたるを深く覺り、能く艱苦窮

乏に堪へ、憂患に生じ安樂に死するを確く信じ、和衷協同時艱を克服し、皇運を扶翼し奉らねばなりません。畏くも陛下には曩に帝國議會に勅語を賜はり「帝國臣民が今日の時局に鑑み忠誠公に奉じ和協心を一にして替襄以て所期の目的を達成せむことを望む」と仰せられました。洵に恐懼の至りであります。本聯盟の活躍に依り、愈々國民精神の振作せられ、倍々帝國の精華の發揚せられむことを祈願しまして、私の祝辭を終るここに致します。

## 祝 辭

衆議院議長 小山 松 壽

國民精神總動員中央聯盟結成の式を擧げらるるに當りまして、一言祝詞を申述べたいと存じます。

曩の第七十二帝國議會開院式に當りまして、畏くも東亞安定に關する皇謨を中外に宣示せられ、國民が忠誠和衷心を一にし公に奉じ、所期の目的を達成せん事を望ませ給ふ勅語を拜しました。衆議院に於きましては恐懼感激、滿場一致を以て優渥なる聖旨を奉體し、大義名分に則りて、舉國一致の實を擧げ、堅忍持久、時局に善處し、東亞永遠の平和確立を期する決議を致したのであります、今や北支の



曠野に、或は中南支の平原に、我忠勇義烈の將士は暴戾支那の大軍と  
 闘ひ、着々膺懲の功を擧げつつあります。然しながら東亞安定の大業  
 を樹つるは中々容易の業ではありません。其前途には更に幾多の國難  
 の相次いで起る事を覺悟しなければなりません。仍ち舉國一體となり、  
 我光輝ある傳統の大精神を醇化發揚し、出征將士の烈々たる意氣健闘  
 と相俟ちて、銃後の經營を全うし、如何なる國難が襲來するも敢然と  
 して之に當り、以て所期の目的を達成し 皇謨を扶翼して 聖明  
 に回へ奉ることを期さねばなりません。想ふに今日程帝國にこりて重  
 大なる局面は曾て見ざる處であります、これによりて東亞の安定を確  
 保し、其の康福と文化を進め、世界の平和と文運とに寄與せんこと  
 する大業を今吾等の手によりて爲さんとするのであります。帝國現代の  
 國民は何の幸か、生れてこの國運進暢の聖代に逢ひ 陛下の鴻業を

翼賛するの榮光を荷ふのであります。須らく發奮興起全國民力を戮せ  
 て此の尊き使命に邁進すべき秋であります。  
 此の際本聯盟の結成により國民精神總動員運動を行はんとするので  
 あります。誠に其機を得たるものでありまして、私は此の運動が全國  
 津々浦々にまで徹底し、國民が翕然として國家の急に應じ、奉公の誠  
 を竭し、一心一體となりて起ち上る事を確信して疑はざるものであり  
 ます。是を以て私の祝辭とします。

本篇は昭和十二年十月十二日日比谷公會堂の本聯盟結成式に於ける有馬會長の挨拶並に近衛總理大臣・松平貴族院議長・小山衆議院議長の祝辭を採録したものである。

昭和十二年十月十七日印刷  
昭和十二年十月十九日發行

編輯兼 發行者 瀬 尾 芳 夫  
東京市麴町區内幸町二舊貴族院内

印刷者 大 島 秀 一  
東京市神田區西神田一丁目九番地

東京市麴町區内幸町二舊貴族院内  
發行所 國民精神總動員中央聯盟

終

78  
04